

J A P A N E S E
SAKE FAIR 2018
日本酒フェア 2018

待ってました！年に一度の「日本酒の祭典」in 池袋
企画リニューアルで楽しさ倍増、来場者もナットクの満足感



若者も外国人もフルエンジョイ。第12回全国日本酒フェア



主催：日本酒造組合中央会

待ってました！そんな声が聞こえてきそうな、日本酒ファン待望のゴールデンイベント「日本酒フェア 2018」が6月17日、東京池袋のサンシャインシティで開催され、およそ7000人の来場者が、世界に羽ばたく國酒・日本酒の魅力を徹底体験。年に一度の日本酒の祭典は、今年も熱気と興奮いっぱいの1日となりました。



全日本酒造組合入賞酒の公開き酒会も大盛況



日本酒の全てが分かる豪華ダブル企画。外国人の注目も↑



「日本酒フェア」の開催は今年で 12 回目。①全国新酒鑑評会の入賞酒を網羅した「公開きき酒会」（主催＝日本酒造組合中央会／後援＝国税庁、観光庁、内閣府知的財産戦略推進事務局、独立行政法人酒類総合研究所）と、②45 都道府県の酒造組合が自慢の地酒を試飲・販売する「全国日本酒フェア」（主催同。後援は酒類総合研究所を除く）をドッキングした豪華ダブル企画は、日本酒の全貌を知る絶好のイベントとして、国内のファンはもちろん、今や外国人愛飲家の間でも注目の的となっています。

特に今回は、各出展ブースにテーマ名を記載するなど「全国日本酒フェア」の一部企画をリニューアル（詳細は 4 頁）。楽しさ倍増のオモテナシに、「アイデア一杯のサービスがとても楽しかった」と、来場者も大満足の様子でした。また、本番前夜（6 月 16 日）には昨年に続いて、各国駐日大使や海外メディア関係者を招いてプレイベント（SAKE NIGHT）も開催されました。



日本酒フェアの前夜祭「SAKE Night」の様様



メディアの取材活発でした(TBS ラジオの取材風景)



屋外休憩所レインボーガーデン



試飲が終わったらアンケート抽選コーナーで、日本酒や蔵元グッズなど素敵な賞品をゲット。



全国日本酒フェアの会場では、午後 1 時と 6 時の 2 回、来場者と共に日本酒で一斉乾杯が行われました。発声は日本酒スタイリストの島田律子さん(左端)と、第 37 回全国きき酒選手権大会の個人の部優勝者・羽矢治郎さん(右端)、2018 準ミス日本酒の 2 人。



今回新設されたフォトスポット。撮影した写真を SNS などに投稿してもらい、情報を拡散してもらおうという狙いで、人気を集めました(全国日本酒フェアと公開きき酒会の両会場に設置)。



平成 29 酒造年度全国新酒鑑評会公開きき酒会の会場から



会場はサンシャインシティ・文化会館 4 階展示ホール

日本酒の酒質と技術の向上を目的に 1911 年にスタートした「全国新酒鑑評会」。106 回目となる今年(平成 29 酒造年度)は、総出品数 850 点のうち 421 点が入賞、うち 232 点が金賞を受賞しています。その鑑評結果を一般に紹介したのが日本酒フェアの「公開きき酒会」。地域別 8 ブロックに分けて入賞酒のほぼ全てを公開(第 1 部=10:00~13:00、第 2 部=15:30~18:30。完全入替制)したもので、会場では、きき猪口と出品リストを手にした大勢の来場者が、「香り高く甘みの酒質」(酒類総合研究所の講評)とされる今年の酒の出来具合を熱心に確認していました。



真剣な表情が印象的



「日本酒はアベレージが高いオサケですね」



関連展示いろいろ ① 全国新酒鑑評会の歴史や酒類総合研究所の活動などを紹介した酒類総合研究所コーナー、② どんな疑問にも答える質問コーナー、③ 原料展示や映像などで日本酒の魅力を紹介した酒造りコーナー、④ 酒類容器の資源循環を紹介した酒パックリサイクルコーナー、⑤ 日本産表示統一マークの PR も





第12回全国日本酒フェアの会場から。地域色より鮮明に



会場はサンシャインシティ・ワールドインポートマートの4階展示ホール

45都道府県の地酒およそ900点が勢揃いした「全国日本酒フェア」(第1部＝10:00～14:00、第2部＝15:30～19:00。完全入替制)。今回は、①地域の特色を鮮明にするため、各県ごとに設定したPRテーマに沿って地酒の試飲・販売や特産物の試食・販売方法を工夫、②会場の一面にきき酒競技を体験できる「きき酒チャレンジ」コーナーを開設、③人気の高い日本酒セミナーを別会場に独立させ実施回数を倍増(次頁)など、展示企画を大幅リニューアル。ある県の担当者は「ブースのテーマが決まってPRしやすくなった。持ってきた商品もほぼ完売に近い」と、疲れも見せずに来場者への対応に当たっていました(他に日本酒造協同組合連合会など関係・有志7団体と、協賛3団体が出展)。



各地の特産物やおつまみのサービスもグッと豊富に



きき酒チャレンジは、20分で7種類の日本酒をマッチングする本格的なもの。計18回実施され、いずれもほぼ満員の盛況でした(全問正解者の中から、抽選で2名が10月の第38回全国きき酒選手権大会の東京都代表として選出される予定)。



国内各地域の酒蔵ツアー情報などを紹介

関連展示いろいろ ① 乾杯デジタルフォトコンテストの大賞・入賞作品コーナー、② おなじみ、歴代首相の國酒揮毫色紙コーナー、③ 加藤忠一氏の酒蔵淡彩スケッチコーナー、④ 池袋周辺の料飲店を割引特典付きで紹介する池袋ほろ酔いMAP



OSAKE スクールの修了式も実施されました(修了生の皆さん。フォトスポットの前で)。





日本酒セミナー大幅拡充。興味津々、厳選テーマの8講座

会場はサンシャインシティ・ワールドインポートマート5階の
コンファレンスルーム



日本酒を巡る文化や新しい楽しみ方、酒造り技術などをテーマに、毎回人気の高い日本酒セミナー。今回は、その企画が大幅拡充され、会場も別室に特設して、計8回（1回30分）の講座を実施。県産酒をPRする県酒造組合枠も新設され、参加者は各講師の話に興味津々の表情で聞き入っていました。



№0.1 トップは、島根県酒造組合の桑原隆事務局長による「島根のお酒トピックス&おいしい日本酒 tasting」。県組合枠セミナーの1つで、県産酒の試飲も交えて、「日本酒発祥の地・島根」をPRしました。



№0.2 スパークリング日本酒メーカー7社で作る(一社)awa酒協会の永井則吉理事長は、2020年東京オリンピックに向けて「シヤンパンより料理を選ばないawa酒を「世界の乾杯シーンに」とアピール。



№0.3 毎年人気の女性杜氏対談、今年は三重県・(合)森喜酒造場の森喜るみ子専務と、福井県・吉田酒造(有)の吉田真子氏が、女性杜氏の苦労や酒造りに掛ける思いを巡り真剣なやり取りを展開。



№0.4 (独法)酒類総合研究所の藤井力品質・評価研究部門長は、全国新酒鑑評会の歴史や平成29年度の鑑評結果などを説明した上、「今後も鑑評会が酒造技術の向上に資することを願う」と述べました



試飲の時間もタップリ



№0.5 歴史家・作家の加来耕三氏は、明治天皇の即位を祝って3千樽の日本酒が東京市民に振る舞われたエピソードや、間違いだらけの時代劇の話など、ひと味違う話で会場を沸かせました。



№0.6 長野県・宮坂醸造㈱のキース・ノーム氏は、外国人来場者を対象にした日本酒教育講座。同氏は現在の日本酒のトレンドを「More & More Variety」と強調しました。



№0.7 「世界へ羽ばたけ！GI山形」と題して講演した山形県酒造組合特別顧問の小関敏彦氏は、「I have a Dream、目指せシャブリ」という印象的な言葉で、地理的表示「GI山形」への期待を表現。(県組合枠セミナー)



№0.8 最後のセミナーは、月桂冠㈱の秦洋二常務。「全国第2位の酒処より・京都」を育んだ伏見の豊かな地下水など郷土愛を語った上で、「京都のお酒を吞んでおくれやす」と参加者に呼びかけました(県組合枠セミナー)。



・トルコから日本に来て1年ぐらい。だいたい週に一度は日本酒を飲んでます。トルコにはラクというお酒がありますが、とてもアルコール度数が高いので、日本酒のソフトな感じがいいんです。トルコ人で日本酒好きは結構多いですよ(男性、全国日本酒フェアの会場で)

・彼と一緒に来ました。ボクは吟醸酒の香りが好き。ラクもいいけど、日本酒は気分が安らぐお酒ですね。トルコに帰ったら、皆に日本酒こと教えてあげます。(同)



・フランスから来ました。日本酒はおいしいと思いますよ。特に香りが素晴らしい。でも、やっぱりワインのほうがベターかな。(男性、全国日本酒フェアで)



・和食も素晴らしいよね。日本酒との相性がバツグンにいいと思う。フランスには、日本酒フェアみたいなお酒のイベントは少ない。誰でも楽しめるのが、このイベントのいいところです。(同)

・初めて来ました。外国の人がとても多いので、日本酒って人気あるんだなと思いました。もちろん、私も好きだから今日来たんですけど、こんなに外国の人に好かれてるって、やっぱりうれしい。(女性、全国日本酒フェアで)

・同僚です。私も初めて参加しましたが、各県のブースの内容が、それぞれいろんなアイデアがあって、とても面白かった。おつまみのサービスもたくさんいただきました。(女性、同)

・もう10年以上日本に住んでいますが、日本酒のダメなところなんて感じたことはありません。とってもいいお酒だと思います。当たり外れが殆どないし、アベレージのとても高いお酒ですね。料理との相性もいいし。(ドイツ女性、公開きき酒会で)

・お店に行くと、日本酒の値段が高くて、ついワインを入れちゃったりするんですけど、ホントは日本酒が大好きなんです。鑑評会は初めて。立ち通しなので疲れましたが、大勢の人がいて、エネルギーを感じます(日本女性、公開きき酒会で)

・きき酒にチャレンジしたらマジで全問正解しちゃいました。ビックリ。でも、楽しかったです。日本酒って、こんな遊びができるんですね。お茶道にも似たような遊びがあるけど、お茶より面白かったです。(女性、きき酒チャレンジコーナーで)



・日本酒の世界でも女性が頑張ってますね。「酒造りは迷いの連続」という言葉に感動しました。私も頑張るぞ。(女性杜氏対談の参加者、女性)





第12回 全国日本酒フェア

各県酒造組合・関連団体・協賛団体の出展風景



● 各都道府県酒造組合（連合会）のブース



北海道



青森県



岩手県



秋田県



山形県



宮城県



福島県



群馬県



栃木県



茨城県



埼玉県



千葉県



東京都



神奈川県



山梨県



長野県



新潟県



富山県



福岡県



石川県



静岡県



愛知県



三重県



岐阜県



岩手県



京都府



大阪府



奈良県



和歌山県



兵庫県



岡山県



広島県



鳥取県



島根県



山口県



愛媛県



香川県



徳島県



高知県



福岡県



佐賀県



長崎県



大分県



熊本県



宮崎県

● 関係団体・有志グループのブース



一般社団法人 awa 酒協会



東京農大花酵母研究会



長期熟成酒研究会



全国燗酒コンテスト



ワイングラスでおいしい日本酒ワード



純粋日本酒協会



日本酒造協同組合連合会



● 協賛団体のブース



全日本漬物協同組合連合会



全国珍味商工業協同組合連合会



全国調理食品工業協同組合